

2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会会議の開催状況

年度	開催日	議題等件数	出席委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
H31 (R1)	4月26日	3	5	平成31年度大阪府教育庁の運営方針について 等
	5月17日	3	5	令和2年度使用府立学校教科用図書採択要領及び令和2年度使用高等学校教科用図書選定の手引きについて、令和2年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について 等
	6月20日	3	3	知事からの意見聴取に対する回答の承認、統合整備により令和2年度に新たに開校する予定の高等学校の校名(仮称)について 等
	8月29日	7	5	平成30年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和元年度実施対象校(案)について、府立高等学校における令和2年度使用教科用図書の採択について、府立中学校における令和2年度使用教科用図書の採択について、府立支援学校における令和2年度使用教科用図書の採択について 等
	9月18日	2	3	令和元年9月定例府議会提出予定の議案について 等
	11月15日	5	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、令和2年度大阪府公立高等学校の募集人員について、令和2年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科(本校)及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について、中学校チャレンジテストの見直しについて、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和元年度実施対象校について
	12月6日	3	5	知事からの意見聴取について、令和2年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について 等
	1月24日	6	5	議会からの意見聴取に対する回答の承認について、知事からの意見聴取に対する回答の承認について、令和2年度公立小・中・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校教職員定数の配分方針について 等
	2月17日	4	4	令和2年2月定例府議会提出予定の議案について、令和元年度全国体力・運動能力について、運動習慣等調査の結果について 等
	3月26日	4	3	意見聴取に対する回答の承認について、令和3年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について、府立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に關する規則について、大阪府文化財保存活用大綱について
合計	10回	40	43	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
H31 (R1)	4月26日	5	府立高校における個人情報の取扱い
	5月17日	5	熱中症防止対策、学校における防災教育の手引きの改訂 等
	6月20日	3	教育委員の自己点検・評価 等
	7月19日	5	府立高校における進路保障機能の充実 等
	9月18日	3	府立学校の ICT 化の推進 等
	11月15日	5	近畿2府4県教育委員協議会 等
	12月6日	5	令和3年度大阪府公立高等学校入学者選抜日程 等
	1月24日	5	令和2年度予算 等
	2月17日	4	新型コロナウイルスに関する大阪府教育庁の対応 等
	3月26日	3	学校での性の多様性の理解を進めるための啓発資料の作成、「家庭教育力向上事業」に係る保護者向け啓発リーフレット 等
合計	10回	43	

(3) 大阪府総合教育会議

令和元年度 第1回大阪府総合教育会議

- ・と き 令和2年2月6日(木)
- ・と ころ 特別会議室(大)
- ・内 容 教員の指導のあり方、ICTによる教育課題の解決

(4) その他

活動内容	回数	延べ出席委員数(教育長を除く)
学校等視察(学校視察、教育センター視察、成果発表会視察、中学生生徒会サミット 等)	40	72
議会への出席(教育常任委員会、教育常任委員協議会 等)	6	15
選考会議等での審査員(学校経営推進費選考、公募校長面接)	3	5
表彰式(大阪スポーツ賞贈呈、文化の日の表彰)	2	4
各種会議、式典への参加(全国都道府県教育委員会連合会、近畿2府4県教育委員協議会 等)	6	12

令和元年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上貴弘委員】(平成 25 年 10 月 1 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 8 回】

【平成 31 年度大阪府教育庁の運営方針について】 (基本方針 7 関係)

*平成 31 年 4 月 26 日開催の教育委員会会議

- ・働き方改革の推進について、私生活の充実が教員の能力を向上させ、それが学校での仕事の効率化や授業内容の質の向上にフィードバックされるような好循環のサイクルに持ち込めるように、時間外在校時間の減少について具体的な目標を明示することを提起。

【平成 30 年度 (平成 31 年 1 月 19 日以降) における教職員の懲戒処分の状況について】 (基本方針 2、6、7 関係)

*平成 31 年 4 月 26 日開催の教育委員会会議

- ・個人情報流出の事案について、USBメモリで個人情報を持ち出せなくすることや、パソコンのウイルス対策の徹底等の情報管理のルールについて、今一度詳細に検討するように提起。

【府立学校の臨時休業等について】 (基本方針 1、2、8 関係)

*令和元年 6 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・学校の不審者対策について、生徒とも学校の侵入者対策や防犯具の設置場所などの情報共有をし、逃走の仕方を確認する防犯訓練を行うなど、十分に注意喚起するよう提言。

【府立高等学校における進路保障機能の充実について】 (基本方針 2、3、4 関係)

*令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・進路保障機能の充実について、産業界に関する動向や労働市場に関する知識を持つキャリア教育コーディネーターが、他の専門人材に就職に関する指導についての研修を行うことを要望。

【平成 31 年度 (令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果について】 (基本方針 1、2 関係)

*令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・個々の生徒の能力や弱点に応じて各々に別の課題を与えて伸ばすような学習法の研究を、ICTの活用やタブレットの導入、AIの発達を見越して進めるように提起。

その他の取組み

【各種会議への参加】（基本方針 1、2、4 関係）

* 令和元年 11 月 18 日開催の近畿 2 府 4 県教育委員協議会

・ 府庁で開催された協議会で、「中学校夜間学級（夜間中学）」「いじめ問題の早期発見、早期対応」をテーマとして意見交換。

* 令和 2 年 2 月 6 日開催の総合教育会議

・ 府庁で開催された会議で、「教員の指導のあり方」「ICTによる教育課題の解決」をテーマとして意見交換。

【その他】

* 学校視察 2 校（箕面支援学校 柴島高等学校）

自己点検及び評価

民間企業経営に関わる立場から、以下の 2 点に関して、企業経営での事例とその改善策を示し、提言を行った。

① 教員の「働き方改革」を実現するための業務効率化の仕組み作り

② 種々な課題の解決策における基準の明確化（可能な限り定量的な基準の導入や曖昧な規則の改正等）

例えば、「教育の勤務時間縮減に対する数値目標の設定」、「個人情報流出に対する現行ルール」、「学校に侵入する不審者のチェック体制や非常時対応の具体的な指示」、「児童虐待を行っている可能性のある家庭への訪問回数や時期の基準」などについて、明確な基準の設定や具体的な記述がないことが重大な問題であると指摘し、役所や学校現場にも転用可能な民間企業での事例を示して改善を求めた。

加えて、重要なテーマである『府立高等学校における進路保障機能の充実』については、生徒に対して指導やアドバイスを行う担当者が、今後の産業構造や社会情勢の変化（どのような産業が今後成長するのか、人工知能の発展により衰退する産業は何か、等）を十分に理解した上で指導を行わなければ、進路指導が形骸化する可能性のあることを指摘し、改善を求めた。

現在の教育委員会会議のメンバーにおいて唯一の民間企業経営に関わっている立場、また、小学生の保護者という立場から、「社会は何を求めているか、どう見ているか」、「保護者ならどう感じるか」という視点を常に持ち、課題解決に努めたい。

令和元年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【竹若洋三委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 10 回】

【平成 30 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】 (基本方針 4、6 関係)

* 令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・ いじめ対策について、最近はいじめが起こった後の対応に重点が置かれているが、学校教育はいじめを起こさないことを最大の目標にすべきで、教員の研修においてもその点に重点を置いてほしいと要望。

【平成 31 年度 (令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果について】 (基本方針 1 関係)

* 令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・ 市町村をサポートしている学力向上支援員が情報交換する場を設けるなどして、府教育庁が示す学力向上策や指導に関する具体的な事例を共有した上で支援に当たれるようにすることを要望。

【中学校チャレンジテストの見直しについて】 (基本方針 1 関係)

* 令和元年 11 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・ 令和 3 年から実施予定の小学校 5・6 年生のテストによって教員が自身の指導を振り返り、授業力を向上させることに繋がると考えられる。将来的には、児童が各学年での学習到達度をテストで点検できるような内容の制度設計をするように要望。

【令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について】 (基本方針 5 関係)

* 令和 2 年 2 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・ 府教育庁の進めてきた体力向上の取組みが学校現場で活用され、それを元に幅広く府内で交流がされていることを評価。また、スポーツテストが単なる授業や行事に終わらず、子ども達の体力や運動能力の向上に役立てていくものだとして教員の意識を改革することが大事であると提言。

【府立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について】 (基本方針 6、7 関係)

* 令和 2 年 3 月 26 日開催の教育委員会会議

- ・ 教職員の時間外勤務時間数について、市町村教育委員会でタイムレコーダーなどのシステムの設置が進んでいないところに府教育庁から業務管理を行うように指導し、実態の把握に努めることを要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針 1、2、3 関係）

* 令和元年 11 月 15 日開催の 中学校英語教育フォーラム

・ 八尾市文化会館で開催されたフォーラムで、新学習指導要領で求められる英語の授業についての公開授業等を視察。

* 令和 2 年 12 月 25 日開催の 市町村医療的ケア実践報告会

・ ドーンセンターで開催された報告会で、看護師や教職員による医療的ケアが必要な児童生徒への実践事例の報告発表を視察。

【各種会議への参加】（基本方針 1、2、7 関係）

* 令和元年 7 月 8 日 9 日開催の全国都道府県教育委員会連合会

・ 高知市で開催された総会で、「学校における働き方改革」「普通科高校の魅力化」「不登校対策」をテーマとして意見交換。

【その他】

* 大阪府議会への出席 6 回（教育常任委員会 4 回、教育常任委員協議会 1 回、定例府議会本会議 1 回）

* 学校視察 8 校（生野高等学校 等） * 表彰式出席 2 回（文化の日表彰式 等）

自己点検及び評価

令和元年度は各種行事の視察等を積極的に行い、学校現場における教育振興基本計画の進捗状況や課題等の把握に努めた。

- ① 英語教育について、「中学校英語教育フォーラム」で、市教育委員会と教育現場が一つになって授業で行っている先進的な取組みや研究会を視察した。その成果についても窺うことができ、なお一層の積極的な取組みを期待したい。特に印象的だったのは、英語の授業が英会話で進められ、中学生がごく自然に英語で反応している光景だった。この素晴らしい授業風景が府全体に波及していくことを望む。また、英語科教員の資質向上や、府内中学三年生で英検三級程度の実力を保持する生徒の割合が全国平均を上回っている状況も評価すべきである。
- ② 学力向上対策の一つである国語力の向上について、小学校の授業及び校内研究会を視察した。府教育庁の加配教員の活用状況を確認し、その成果が学校全体に波及していることや、市教育委員会との連携により市内で幅広く推進されている実態を見ることができた。
- ③ 体力運動能力の向上について、府の南部と北部地域の小学校での授業を視察した。両地域とも府教育庁が作成した教材等を活用しており、それに基づいた学習指導では、授業の中で児童が生き生きと運動に取り組む様子が見られ、この教員の指導を受けられる子どもは幸せだ、と思えるほど素晴らしかった。指導体制についても、学校全体と地域の研究組織が一体となって研究が推進されていたことを高く評価したい。

以上 3 点について、府内全体に波及推進されていく状況の把握に努め、そこに生ずる課題等も検討していきたい。令和元年度末からの、コロナ禍による教育活動の停滞にはもどかしい思いを感じているが、今後も様々な行事等の視察に努め、大阪の教育力の向上に微力を尽くしたい。

令和元年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岩下由利子委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 9 回】

【平成 30 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】 (基本方針 1、2 関係)

* 令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・ 国語力の低下について、新学習指導要領の「主体的、対話的、深い学び」を実現する授業の中でも、特に生徒の話をよく聞くことの重要性を指摘。教員が聞くことを大事にすることで、生徒は自分の考えを話すようになり、コミュニケーション能力や表現力、想像力の向上につながるのではないかと提起。

【平成 30 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】 (基本方針 8 関係)

* 令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・ 学校の防災力の向上について、自然災害が増加し、想定外の事態に学校だけでは対応が難しくなっているところがあるので、消防署や地域の消防団など、地域の人と連携した防災訓練が学校でも必要になってきていると提起。

【令和 2 年度大阪府公立高等学校の募集人員について】 (基本方針 2 関係)

* 令和元年 11 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・ 今後は不登校の生徒の増加が予想されることや、AI を用いた学習スタイルの発達などから、通信制高校の需要は高まると考えられる。また合宿や遠征が多くて高校に通えないスポーツ選手の高校生が通信制を活用し、大会でも活躍するような例が出てくると通信制高校にも変化が出てくるのではないかと提言。

【府立学校施設長寿命化整備方針 (案) について】 (基本方針 2、8 関係)

* 令和 2 年 2 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・ 生活環境面の機能向上について、学校のトイレの環境整備や、省エネ化につながる照明の LED 化を要望。

【府立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について】 (基本方針 7 関係)

* 令和 2 年 3 月 26 日開催の教育委員会会議

- ・ オンラインシステムを活用して教職員の業務を軽減するために、システムでできることと人の手で行うことを明確化することを提起。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針 1、4、5 関係）

* 令和元年 11 月 9 日開催の 令和元年度大阪府中学校生徒会サミット

- ・ 府庁本会議場で開催されたサミットで、各市町村から集まった中学校の生徒会代表が「大阪からいじめをなくすために」をテーマに意見交換する様子を視察。

* 令和 2 年 2 月 8 日開催の 子ども元気アッププロジェクト「第 11 回おおさか子ども E K I D E N 大会」

- ・ 長居陸上競技場で開催された大会で、小学生の駅伝を視察。

【その他】

* 大阪府議会への出席 3 回（教育常任委員会 2 回、教育常任委員協議会 1 回） * 学校視察 4 校（河内長野市立天野小学校 等）

* 表彰式出席 1 回（文化の日の表彰式）

自己点検及び評価

令和元年度は、「大阪府中学校生徒会サミット」、「子ども元気アッププロジェクト」への出席や、学校等の視察によって、教育における様々な現状や課題をより明確に認識することができた。

例えば、「大阪府中学校生徒会サミット」では中学生がしっかりとした考えを持っていること、「子ども元気アッププロジェクト」では運動への取り組みは児童生徒本人だけではなく家族の協力が重要であることを改めて感じた。また、小学校における体育の授業に対する高度な研究と工夫、支援学校における教職員のきめ細かな対応など、学校現場で教職員や児童生徒から直接得ることができた情報も多かった。これらの取組みを視察し、今まで府教育委員会が一丸となって取り組んできたことが成果に現れていると実感し、安心もできた。

しかし令和 2 年度に入り、誰も予期しなかった新型コロナウイルス感染症によって、年度半ばになっても先が見えない生活を強いられる状況にある。府立学校では、感染症対策としてオンライン授業ができる環境の整備等を進めることができたが、それによって学校現場のネットワーク状況や機器の活用など、多くの長所や課題が明らかになった。さらに近年、想定外の規模の自然災害が多く発生しており、今までの対応では対処できないという事態も数多く起こっている。災害の多い時代にあることを認識し、今までの対応を見直していく必要がある。

今回のコロナ禍から学んだ教育現場での対応や、新たな時代に向けた教育施策などについても、常に想定外の事象を考慮の上、先を見据えた考えを持って提言していきたい。

令和元年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【良原恵子委員】(平成 28 年 2 月 25 日就任 — 令和 2 年 2 月 24 日退任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 8 回】

【平成 31 年度大阪府教育庁の運営方針について】 (基本方針 4 関係)

*平成 31 年 4 月 26 日開催の教育委員会会議

- ・スクールソーシャルワーカーやキャリア教育コーディネーターなど外部の専門人材の活用が増えたことや、これらの人材のための連絡協議会が開催されるようになったことを評価。また、学校の教員を交えて協議や情報共有を行うことが重要であり、具体的な指標を教員と専門家が共有するなどの取組みの充実を提起。

【府立高等学校における進路保障機能の充実について】 (基本方針 2、4 関係)

*令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・この取組みの中で、ロードマップを作成し、それに沿って進路指導を進めていく方法を評価。この方法を、学校にすでに配置されているキャリア教育コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーによる支援体制を具体的に機能させる原動力にしていくことを要望。

【令和 2 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】 (基本方針 1、2、6 関係)

*令和元年 12 月 6 日開催の教育委員会会議

- ・教職員の不祥事への対応について、「不祥事防止に向けたワークシート集」を「指示事項」「指導・助言事項」の参考資料として記載することを要望。また、ワークシート集を作成する際には、研修に関わる教育センターの意見や、高等学校課、支援教育課、小中学校課それぞれの課の視点を反映するように提言。

【平成 30 年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について】 (基本方針 1、2、4 関係)

*令和元年 12 月 6 日開催の教育委員会会議

- ・いじめや不登校の実態を把握するためには、個別のケースの対応も大事だが、数字のデータも重要であると指摘。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも共有してチーム学校として取り組んでいくように提言。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、2、3、4、6関係）

*平成31年4月2日開催の スクールカウンセラー連絡協議会

・教育センターで開催された連絡協議会で、「学校現場における倫理問題」や「府立高校における人権問題」などをテーマとした研修を視察。

*令和元年8月23日開催の 大阪府生徒指導緊急校長研修

・大東市立総合文化センターで開催された研修で、府内の全校種の校長等を対象に「学校におけるいじめ対応について考える」という題で講義講演を実施。

*令和元年9月17日開催の 大阪教育大学 ハートフルコンサート

・シンフォニーホールで開催されたコンサートに、招待された府立支援学校の児童・生徒や関係者とともに参加。

*令和年12月16日開催の エンパワメントスクール生徒支援体制整備事業連絡協議会

・教育センターで開催された連絡協議会で、「虐待について」をテーマとした講義や、各校の教員と専門人材が年度の活動を振り返る研修などを視察。

【その他】

*大阪府議会への出席 3回（教育常任委員会 2回、教育常任委員協議会 1回）

*学校視察 4校（豊中高等学校 等） *表彰式出席 1回（大阪スポーツ賞贈呈式）

自己点検及び評価

今まで3年間の教育委員会会議や視察等の経験より、令和元年度は「学校と医療・福祉・心理・司法等の専門家や外部人材との連携」と「教育センターや大阪府教育庁各課の連携」が重要であることを意識し、大阪府教育振興基本計画（特に基本方針1、2、4、6）の目標達成に向けた提言と活動に努めた。

【基本方針2】の重点取組⑧「生徒の自立を支える教育の充実」、【基本方針4】の重点取組⑳「いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化」については、現場の教職員を中心として大阪府教育庁、市町村教育委員会、配置派遣された専門家や外部人材らの連携による統合的な取組みと、それによって得られた一定の成果について評価するとともに、さらにより成果をめざすために、専門人材の配置派遣や、専門人材を交えた意見交換と課題共有のための定期的な会議が形だけの実施で終わるのではなく、その在り方や機能が改善し、質が向上するように提言に努めた。

【基本方針6】の重点取組㉑「指導が不適切な教員への厳正な対応」においては、教職員の不祥事対応について「校内研修を実施したか」といった形式的なことを問題にするのではなく、教職員が研修に主体的に参加し理解を深めることができるように、「不祥事防止に向けたワークシート集」の作成と活用を提言した。また、ワークシートを作成する際には、担当である教職員人事課に加えて、複数の部署の異なる視座を入れることの重要性を指摘した。

令和元年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岡部美香委員】(平成 28 年 10 月 1 日就任)

教育委員会会議における取組み (主な発言の内容) 【会議出席 8 回】

【府立高等学校における進路保障機能の充実について】 (基本方針 2、4、7 関係)

* 令和元年 8 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・拠点校に配置されたスクールソーシャルワーカーやキャリア教育コーディネーターが、ICT 機器などを活用して他の学校の生徒を面接した場合も謝金が出る体制ができれば、これら専門人材の活用の幅が広がるのではないかと提起。こうした福祉対策にも ICT の活用を検討するようにと要望。

【令和 2 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】 (基本方針 1、2、6 関係)

* 令和元年 12 月 6 日開催の教育委員会会議

- ・指示事項・指導助言事項のハラスメント防止の項目について、加害者を指導するのみならず、学校においても教員が互いを理解し、必要なことを言えるように職場環境をよくしていくことを強調した文章になるように要望。

【平成 30 年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について】 (基本方針 1、2、4 関係)

* 令和元年 12 月 6 日開催の教育委員会会議

- ・子どもの居場所確保は重要だが、一時的に居心地のよい場所を与えるだけでは児童生徒の不安や無気力は解決しないので、キャリア教育によって将来の見通しを与えるような支援もするように提起。

【大阪府文化財保存活用大綱(案)について】 (基本方針 9 関係)

* 令和 2 年 1 月 24 日開催の教育委員会会議

- ・文化財の保存活用について、博物館運営の経済性を重視するあまり、活用されない文化財が保存や継承されなくなることがないように、経済効果だけではない視点で文化を守っていくように要望。

【府立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について】 (基本方針 2、4、6 関係)

* 令和 2 年 3 月 26 日開催の教育委員会会議

- ・教員の時間外勤務時間の削減のため、教員が勤務時間外には対応できないことを子どもや保護者に伝えられる体制と、その教員が対応できないときに子どもや保護者を支える連携システムを同時に整備していくことを要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、2、4、9関係）

*令和元年7月21日開催の O S A K A多文化共生フォーラム

・府庁咲洲庁舎で開催されたフォーラムで、府内から集まった日本語指導が必要な中学生らの交流の様子を視察。

*令和元年10月6日開催の 高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会

・教育センターで開催された発表会で、生徒らの絵画や写真、工芸作品の展示や、生活体験発表などを視察

*令和元年12月27日開催の 教育庁職員人権研修

・府庁で開催された研修で、「在日外国人の人権はいま」と「『外国につながる子どもたち』から見えるもの」をテーマとした講演を聴講。

*令和2年2月8日開催の グローバルリーダーズハイスクール（G L H S）合同発表会

・大阪大学吹田キャンパスで開催された発表会で、各校の代表生徒による研究成果の発表や、アメリカ研修報告を視察。

【その他】

*大阪府議会への出席 3回（教育常任委員会 1回、教育常任委員協議会 2回） *学校視察 2回（箕面支援学校 柴島高等学校）

自己点検及び評価

令和元年度は、「高校生の就労支援」および「教育と福祉の架橋」という観点から、学校や行政機関、NPO法人等を視察するとともに、会議やワーキンググループで意見表明および助言を行った。特に次の点に注力した。

- ① 高等学校課・高校再編整備課による「府立高校における進路保障の取組み充実に関する検討会議」（4月～7月にかけて4回開催）に参加し、高校在学3年間を通じたキャリア教育と卒業後の定着支援のあり方について助言した。同時に、そうしたキャリア教育と定着支援活動を推進するための「チーム学校」の体制強化の必要性について提言した。
- ② 大阪府立西成高校および桃谷高校通信制の課程を視察し、キャリア教育の現状を聴き取り、課題解決に向けた具体的方策を協議・提案した。
- ③ ①②の事業の今後の展開について有効な助言を行うべく、大阪府商工労働部、大阪府福祉部地域福祉課、さらに複数の関連NPO法人の取り組みについて聞き取りを行い、高校卒業後の定着支援や離職した若者に対する支援の現状と課題について調査した。
- ④ 大阪府財務部行政経営課の公民戦略連携デスク、大阪府福祉部、茨木市子ども政策課に聞き取り調査を行い、児童福祉と生活困窮者支援それぞれのあり方、そして両者の架橋に関して現状と課題を調査した。

令和2年度は、コロナ禍による経済格差・教育格差の拡大を可能な限り抑制・防止するために、①～④で得た知見を活かしつつ、さまざまな困難を抱える児童生徒への学習・進学支援および高校生の就労支援・定着支援に関する政策に対して積極的に提言していきたい。特に④に関わって、教育と福祉の架橋をさらに推進するための施策を考案していきたい。